

徹底討論

令和6年陳情第1号 議員定数等の見直しを求める陳情

反対討論

大迫 みどり 議員

人口減少・高齢化・交通問題など課題が山積する中、定数を3人削減して議員の役割が果たせるのか。まだ議会改革を進めている途中である。市民から選ばれた議員として、これまでの議員活動、議会活動に誇りを持って、賛否を決めてほしい。

橋本 律子 議員

1常任委員会あたり6人以上は必要という意見で一致していた中間報告を、1つの陳情で一転3名削減しているのか。議会改革特別委員会で時間をかけて練り上げた議論に議員としての矜持をもち、現状維持すべき。

能勢 誠 議員

定数削減は議会の多様性を損ない、市民の声が届きにくくなる。区長会の意見が市民全体の総意とは言えず、現状の定数でも監視機能、政策提言機能が十分に発揮されていない。多様な市民の声に応えるためにも削減に反対。

賛成討論

小川 真 議員

区長会の陳情を受け、市民アンケートを実施、857件回答頂いた。内容は、議員定数16名妥当が58%と最多。報酬も見直しが必要との声が多く、陳情の願意と一致している。私自身、副区長を4期8年経験し、基本的に区長会と同じ考えであり陳情に賛成する。

永野 雅己 議員

議員定数の削減は市民意見や人口減少を踏まえ妥当と考え賛成。デジタル化や報酬見直しで効率化と多様な人材の参画を促し、情報発信強化で透明性を高め、市民に開かれた議会を目指すべき。

舞田 重治 議員

若者や女性、専門知識を持った多くの方々に立候補いただくため、議員報酬の引上げなどの待遇改善、議員の質の向上、小林市の現場に新たな価値の創造、提案の出来る議員・議会、技術革新が求められているのではないかと。格段の改革を希望し賛成討論とする。